

令和6年度第1回 恵那市防災会議議事録

I 日時

令和7年5月22日（木）午後1時30分から午後2時24分

II 場所

恵那市役所西庁舎3階 災害対策室AB（ウェブ会議併用）

III 出席者

別紙のとおり

IV 傍聴者

1名

V 次第

1. 会長あいさつ

本日は大変お忙しい中にも関わらず、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。令和7年第1回目となりました、恵那市の防災会議でございます。既にご承知と思いますが、九州は梅雨に入り、いよいよ出水期が迫ってきました。なるべく早くこの防災会議を実施し、意識を統一して、出水期に向けて準備を進めてまいりたいと思います。

先週の土曜日ですが、5月17日は少年消防隊の入隊式があり、子どもたちが1年を通じて、例えば防災訓練やそれから様々な場面で活躍していただくための取り組みが今年もスタートしました。

そしてもう一つ消防関係で申し上げたいのは、消防署の指令台を、東濃五市で一つにまとめるという取り組みが既に動いており、来年の2月から仮稼働を含めて本格的な運用が始まります。今までは119番すると恵那の消防署に繋がっていましたが、これからは瑞浪の指令台に繋がって、そこから東濃五市のそれぞれのところに繋がっていくこととなります。こうすることで、人的な確保もそうですけども、将来は市の境目あたりで何か起きたときに、どちらの市でも行けるようになるということで、大変大切な取り組みだというふうに思っています。いずれにしても、今日の防災会議でも後ほど説明があると思いますが、様々な取り組みを進めていき、なおかつ、防災の取り組みというのは市の中で最も大切な取り組みの一つであり、市、ここにいらっしゃ

る方だけでなく、全市民、そして全世代の方にとって大切な取り組みになりますので、ますます重要度は増しております。その意味では多くの皆様のご参加、そして意識を持っていただく、そんな取り組みに進めてまいりたいと思っています。

本日も短い時間でございますが、活発にご意見賜りますようお願い申し上げます、冒頭の挨拶とさせていただきます。

2. 委嘱状交付

- ・机上配布

3. 委員紹介

- ・名簿配布により実施（初会議出席の委員4名は自己紹介を実施）

4. 議題

報告第1号 令和7年度防災対策主要事業について

- ・事務局より別紙のとおり説明

・委員

災害協定に基づく連携強化の部分ですが、小さい子供たちや子を持つ親にとっては、1週間分の備えをするということは、なかなか稼働力もなければ、それだけ持つて動ける力もなく不安が大きいところです。特に生活用品や避難所の部分で、このように協定していただくということは、すごく安心感ができて嬉しいことだと思っています。この生活用品とか避難所の部分は一般事業者になると思いますので、担当者も変わっていく中で、この連携の維持という面からいくと、例えば担当者の変更や協定内容の確認の訓練等、具体的な取り組みがあれば教えてください。

・事務局

例えば最近だと、武並で中部電力様と協力して防災訓練を実施しました。生活用品や避難所の食事という面では、訓練等が実施できておりませんので、例えば防災訓練等で協定に基づいた訓練ができれば良いと思います。今年度できるかわかりませんが、実現できるよう取り組んでまいります。

総務部長を拝命しております樋田と申します。よろしく申し上げます。私は3月までは商工に所属しておりました。緊急時の避難、いわゆる宿泊施設ですが、こちらの不足に備えて、昨年ルートイン様の隣にあるHOTEL R9 The Yard 恵那様というコンテ

ナホテルがありますが、こちらと防災訓練時に、一緒に情報共有や状況確認をするような訓練を実施しております。

・委員

防災避難体制の強化ということで、避難所案内表示を設置場所が32ヶ所分あるということですが、中野方町では第1避難所が中野方コミュニティセンターになります。また、大規模な災害が起きた際は小学校の体育館等を使うということで、小学校の体育館の空調関係整備をしていただいたのですが、そういう2ヶ所きちつと表示をされるのか、この32ヶ所というのはどこなのかということを確認させていただきたいです。

もう1点、防災リーダーもしくは防災士の施策の推進ということで、積極的に取り組まれております。私も平成22年に資格を取得したのですが、新しい人ではなくて、防災リーダーの方たちのアフターフォローの取り組みを、推進していただきたいと思っています。

・事務局

中野方の看板の設置場所は、中野方コミュニティセンター、中野方小学校、中野方グラウンドの3ヶ所でございます。また、市内82ヶ所に、指定避難所、指定緊急避難場所というところがございます。

場所については地域防災計画に記載がまとめて書いてあります。それぞれの指定避難所、指定緊急避難場所につきまして、既に古い看板が建っているところや、何も看板が建っていない箇所がございます。まず今年度は何も建っていない32ヶ所を、標準化された看板デザイン図で設置していこうというものです。

防災リーダー、防災士のアフターフォローについて、まず恵那市の取り組みとしては、今年度も2月に実施予定の地区防災計画活動報告発表会で、防災リーダーの方ですとか防災士の方も一緒に参加をしていただき、地区の防災の取り組みを一緒に見ていただいて一緒にできることを考えていこうというような取り組みを行っています。

その他には日頃の地域の防災訓練や、学校の防災研修、防災スクールだとか今年度もそういったところにも防災リーダー、防災士にお声がけをしていき、一緒に取り組んでいければと考えております。

・委員

耐震化についての質問ですが、昨今南海トラフ巨大地震について新しく見直しされているところですが、恵那市においては震度6から6.5と想定されているようですが、それは耐震化しているかどうかで、被害が大きく変わると思います。恵那市では耐震化率はどのくらいでしょうか？また、各地域の耐震化率は把握できるでしょうか。

もう一点、液状化における耐震化というものをどのようにお考えか、教えてください。

・事務局

現状、恵那市の耐震化率は69.2%ということで、全国平均、県平均に比べかなり低いという値となっています。全国平均で87%だそうですので比較的低いということで、やはり全国平均でいうと新しい家が多いという部分もあると思います。恵那市は田舎ではありますので、古い家屋が多いため、耐震化率が低いということがあると思います。耐震化の促進のため、耐震化関係の補助金を設けていければと考えています。また、耐震化を市民に周知していければと考えています。

各地区内の耐震化率や、液状化の点については、現在事務局で用意、把握ができておりません。何らかの方法で確認できれば、皆さまに回答させていただきます。

・委員

耐震化することによって避難所に行かなくても自宅で待機できるということが言われております。耐震化を、いかに住民に啓発し推進するというのが、とても大切だと思いました。

・委員

恵那市の耐震化率が低いということで、昨年度から恵那市住宅耐震化促進検討委員会が発足されており、補助金の157万円というのも、いろいろな課題をクリアし、金額を上げてもらったという経緯があります。それこそ防災という、最初の段階で今言われたように、耐震化というのが、非常に大切だと、委員の皆さまにも広報していただけるとありがたい。どのように広報するか、恵那市の建築住宅課も含めた課題と思います。積極的に取り組んでいけば、耐震化率は上がっていくと思います。

・委員

耐震化していない場合はどのような被害が起こり、耐震化すればどのような被害で済むかという、見える化の方法があります。そのような手段だと市民の方にも理解いただけたと思いますので、文字ではなく、活用いただくとありがたいです。

・委員（オンライン参加）

今回オンラインにした理由は、災害時にはライフラインが切断されて、電気、ケーブル、インターネット等寸断されることもありますので、一つ試みとして、この回線はスターリンクを使っています。

スターリンク、 아이폰を繋いで会議に参加し、音や画質がどうかとか、訓練を兼ねてやっています。そちらの声に関してはよく聞こえています。

例えば防災行政無線にしても、片方の回線が切れたらスターリンクで繋げばすぐ立ち上がるとか、緊急に招集する場合は、オンラインで同時に皆さんが参加できるようにオンラインの訓練みたいな形もやっておくと良いと思います。

・事務局

各市町村にスターリンクの導入予定について話を聞いたことがありますが、やはりコスト等色々な話を聞きました。ただ関係機関と、非常時に情報伝達が出来なくてはなりませんので、他の自治体と調整しながら、スターリンクの方も入れることを検討していきたいと思います。

・委員（オンライン参加）

スターリンクは月単位の契約もできます。5万円のキット買って200Wで電源があれば、起動します。安いソーラーパネルで充電できれば、停電が長引いても連絡という点では困らないと思います。予算面も5万円のキット+月単位だけ契約するとかそういう形もあるので、かなりハードルが低いかなとは思っていますので検討されたらいいかなと思います。

・委員

この会議をスターリンクで繋ぎ、参加されているということで、素晴らしい取り

組みだと思えます。画質、音声もしっかり聞こえています。私どもは普通の光回線を繋いでいますが、有事の際は本部等に行けない可能性もあります。私達も年に1回訓練をやっていますが、フルリモートでの想定訓練だとか、そのような訓練も必要だと改めて思いました。

また、避難所の案内について、資料では高潮や津波が看板に書かれているが、恵那市ではそのような事象はないと思う。市民が見ると若干不安になるのではないかと思いました。

- ・事務局

紛らわしい表記で申し訳ございません。こちらに関しては見本を表記しているものですから、実際に高潮や津波の表記はしません。

議第1号 恵那市地域防災計画の一部修正について

- ・事務局より資料のとおり説明

- ・委員

組織が増えてということは理解でき、いろんな組織運営をされるということは理解しております。机上ではなく、行動をしているかどうかという点で、手順があって動いていると思いますが、その辺の手順を踏んでいるかどうか確認をしたいと思います。

昨年ペットの関係の訓練を実施しました。ただ、その担当課があまりよく知らないような感じを受けました。知らないのではなくて知らないような感じを受けましたので、実際そのような訓練を行っているかどうか、全員がマニュアル見ているかとか、確認をしておいて欲しいです。要望ということでお願いします。

5. その他

- ・事務局

国土強靱化地域計画というのがありまして、この計画については令和2年に策定され、今年度で最終年となり、令和8年度から新たに国土強靱化計画を策定することになります。この計画の目的は、防災減災といった対策を強化し、自然災害全般に関する

る強さと、しなやかさを持った安全安心なまち作りを推進するために作られた計画です。改正にあたって、防災会議条例の5条に基づき、策定部会を設置したいと思います。その部会の委員の方については何名か、後ご選任させていただきますので、よろしくをお願いします。

上記議事録は、事実と相違ないことを証するため署名する。

令和7年5月23日

署名委員

安藤 志保

署名委員

足立 伊公子
